

広報

No. 2

2008
No. 649

恵を合せて 1・2・3・4。

■ みんなで育てたスズハラモチだよ

1月21日、根雨小学校の児童が餅つきを行いました。

(関連記事： 9 ページ)

法律上「酒気帯び」
「酒酔い」の2つに分類

飲酒運転とは、ビール、日本酒などの酒類や、アルコールを含む食品を摂取した状態で自動車などを運転する行為のこと。日本国内では、道路交通法上、「酒気帯び運転」「酒酔い運転」の2種類に分けられています。

酒気帯び運転は、体内のアルコール濃度が、呼気1ℓ中0・15mg以上または血液1ml中0・3mg以上含まれる状態で運転する行為。

酒酔い運転は、濃度に関係なく、アルコールの影響で正常な運転ができないおそれがある状態で運転する行為のことをいいます。

飲酒運転は
れっきとした犯罪

酒気帯び運転をする3年以下の懲役または50万円以下の罰金、酒酔い運転では5年以下の懲役または100万円以下の罰金が課せられます。

なお、昨年9月からは、飲酒運転するおそれがある人に車両や酒を提供した人、酒気を帯びていることを知りなが

許すな！ 飲酒運転

「ちょっとそこまでだから大丈夫」

「もう酔っていないから」

「酒には強いから」

そう思っていないですか。

飲酒運転は、

誰でもする可能性がある犯罪行為です。

飲酒運転による交通事故も後を絶たず、

罰則も強化されています。

かけがえのない命を守るためにも

飲酒運転と交通安全について考えてみましょう。

ら、飲酒運転の車両に同乗した人にも懲役または罰金が課せられるなど、飲酒運転をした本人だけではなく、飲酒運転を助長した人も処罰されることになっています。

飲酒運転は、刑事罰を受けるほかに、仕事の上で懲戒処分を受けたり信用を損なったりと、社会的制裁を受けることもある取り返しのつかない犯罪行為です。私たち一人一人が飲酒運転を許さない心をもつことが大切です。

日野町の違反率は
県内ワースト2位

鳥取県内の平成19年中の飲酒運転違反者は343人。厳罰化・取締り強化などにより、18年（537人）に比べ大幅に減少しています。

日野町内の状況を見ると、平成19年中の日野町在住者の飲酒運転違反者は2人で、18年（4人）に比べ半数に減っています。

しかし、飲酒運転事故を含めた検挙者数を運転免許保有者千人当たりに換算した場合、県内19市町村中、日野町在住者の違反率は2番目に高く、決して飲酒運転は他人事でないことがわかります。

少しだけなら 大丈夫？

「運転には自信がある」と
過信していませんか。
アルコールは、少量でも脳に働きかけ、
判断を低下させる物質です。
「飲んだら乗るな」
「乗るなら飲むな」を徹底し、
お酒と上手に付き合いましょう。

アルコールの摂取で
判断力は低下

「酒に酔う」とは、アルコールを含む飲食物を摂ることで血液中のアルコール濃度が高まり、理性・判断をつかさどる大脳皮質をコントロールする網様体がまひした状態をいいます。

酔うと、顔が赤くなったり、気分が良くなったりするほか、

知覚や運動能力が鈍くなるため、安全運転に必要な注意力・判断力などが低下してしまいます。その結果、飲酒運転は速度超過などの危険運転を引き起こし、交通事故を起こす可能性が非常に高くなります。

酒に強い人でも
安心しないで

科学警察研究所や交通事故

総合分析センターの調査研究によると、低濃度のアルコールでも運転操作に一定の影響があることがわかっています。科学警察研究所が行った研究では、酒に弱い人と強い人のアルコール濃度を同じにして運転能力を実験したところ、強い人も弱い人と同じように運転に影響が出ることがわかりました。

そもそも、酒に強い人とはアルコールの代謝物質であるアセトアルデヒド（顔が赤くなる、気分が悪くなるなどの症状を起こし、酔いを自覚させる物質）の分解能力が高い人だと考えられています。

酒に強い人はアセトアルデヒドを分解できるので自分は酔っていないと自覚しますが、運転能力に作用するのはアセトアルデヒドではなくアルコールなので、酒に強いからといって過信は禁物です。

このように、酒を飲むことで、アルコールは確実に脳に影響を及ぼしているのです。少しでもお酒を飲んだら、絶対に運転しないようにしましょう。

町交通安全母の会会長の

佐々木周子さんに、

飲酒運転防止について聞きました。

▼交通安全母の会について
交通安全母の会は、子どもたちを交通事故から守ることを目的に結成された全国組織です。日野町では、約1000世帯の皆さんから会費をいただいで交通安全に関する啓発を中心に活動しています。

▼飲酒運転をなくすために
飲酒運転による事故で小さな子どもが犠牲になったり、非常に痛ましいことです。

飲酒運転への罰則強化などで件数は減っていますが、私は厳しい法律ができればそれでいいとは思っていません。罰則強化は一時的に効果はありますが特効薬ではありません。

▼さらに私たちが交通ルールの徹底を繰り返し啓発していき、一人一人のモラルを向上させていくことが大切です。

▼まちの皆さんへ
飲酒運転に限らず、交通事故はちょっとした不注意が取り返しのつかないことにつながります。交通ルールを守るのはもちろん、自分の命は自分で守るのが一番。夜間出かけるときは必ず反射材を身に付けるようにしてください。

一人一人のモラル向上を



日野町交通安全母の会会長

佐々木周子さん

▼町内の飲酒運転の現状

平成19年中、日野町内では、飲酒運転による交通事故が1件発生しています。また、町内在住者の飲酒運転による検挙数は2件でした。

▼取締り強化などの効果

県内では、平成18年に比べ、飲酒運転者は大幅に減っています。昨年改正された道路交通法によって、飲酒運転した本人だけでなく、お酒を飲ませた人、飲酒運転の車に乗った人なども罰せられることになったことや、取締りを強化したことが違反者減少に効果があったのだと思います。

また、お酒を提供する飲食店の協力で、飲酒の席で飲まない人を決めて運転してもらう「ハンドルキーパー運動」に取り組んでいただいたことも効果の一つですね。私たち

「飲んだら乗るな」徹底を



黒坂警察署 交通課長
川崎 孝則さん



ハンドルキーパーの
ロゴマーク

警察も町内の飲食店を訪問して啓発活動を行いました。

交通安全はみんなの願い。
町内での飲酒運転の状況や、
地域の交通安全について

黒坂警察署交通課長の

川崎孝則さんに話を聞きました。

▼飲酒運転を防ぐためには

町内に限らず、飲酒運転した人にその理由を聞いてみると、「むしゃくしゃしていたから」「家から飲んで出た」など、飲酒運転をするとわかっていて違反している事例の方が多いですね。

皆さんに気をつけてほしいのは、二日酔いで、翌日に酒気が残っている場合があること。それで飲酒運転になった人もあります。朝起きてまだ酒が抜けてないと思ったら、運転は控えてください。

鳥取県警では、今年から重点目標の中に「飲酒運転根絶対策の推進」を組み入れて、さらに強力に取り組み、取締りも強化させていきます。

まちの皆さんには、やはり「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底して守ってほ

しいですね。

▼まちの交通安全について

平成19年中、町内では19件の人身事故が発生しました。残念なことには死亡事故が1件、負傷者は計24人でした。また、自動車と歩行者による事故は5件ありました。

特徴的なのは、高齢者が事故に関わることが多いことです。町内の19件の事故のうち、65歳以上の高齢者が加害者になった事故が3件、被害者になった事故は5件でした。高齢になると、視力や判断力が



衝突事故があった日野高校根雨校舎前の国道181号。通行には注意を

低下し、運転にはさらに注意が必要になります。周りのドライバースも、「紅葉マーク」のついた車には幅寄せや割り込みなどしないように心がけてください。

また、平成19年中の県内の交通事故死亡者34人のうち約65%が高齢者です。事故に遭わないためにも夜光反射材の着用をお願いします。

▼交通事故防止対策について
昨年は、日野高校根雨校舎前の進入路と国道181号線の三叉路でバスとトラックの衝突事故がありました。この付近は道路の見通しなどが悪く、この事故を機に関係者と協議し、付近の安全対策を行う予定です。

ドライバーの皆さんには、わき見運転をしないこと、シートベルトをきちんと着用することのほか、ゆとりをもって車を運転して事故を防いでほしいですね。

また、町内には時間帯によって車両通行禁止になる道路や、一時停止の標示なども多くあります。皆さん一人一人が交通ルールを守って、交通事故のないまちをつくってほしいです。

町営バス 板井原・真住線の 路線分割など協議

▼町地域公共交通会議

町民の生活に必要な
公共交通機関の充実と
利便の向上を図ることを目的とした
町地域公共交通会議（景山享弘会長）が、
2月1日、町役場で開かれました。
会議では、町営バスの運行について
4つの項目が協議・承認されました。

町営バス運行を変更します （会議での協議事項）

▼平成19年中の
町営バス運行状況について

平成19年中の菅福線、板井原・真住線、奥渡線の利用者は、どの路線とも前年に比べ増加しています。昨年4月から運行を開始した根雨宿・病院線の利用者は、昨年未まで延べ5685人、1便あたりの利用者は平均約2・3人でした。

運賃収入は、1年間で約542万円。平成18年に比べ約22%減少していますが、これは、新たに割引率の大きい通学者用の12か月定期券を発行したことが大きな要因です。

▼板井原・真住線
朝1便の路線を分割

板井原・真住線のうち、第1便は現在満員状態で利用されているため、乗客の安全面も考慮し、3月3日から、板井原方面・真住方面と路線を分けて運行することとしました。なお、第2便以降の便は、

通常どおり運行します。

▼奥渡線「小原」「小原入口」をデマンド運行に変更

奥渡線の「小原」「小原入口」バス停について、現在第1便は通学に利用されていますが、それ以降の便は利用が少ないため、第2・第3・第4便をデマンド運行（予約運行）とします。これは、4月1日から実施します。

▼ＪＲダイヤ改正に伴い
町営バスダイヤを改正

3月15日のＪＲのダイヤ改正に合わせ、町営バスダイヤを次のとおり改正します。
板井原・真住線 3月3日改正
奥渡線 3月17日改正
菅福線 3月17日改正
根雨宿・病院線 3月17日改正
改正後の時刻表は2月20日の自治会発送で各家庭に配布します。

回数券などが当たる！「利用客数 10 万人 到達日予想クイズ」

■問題 もうすぐ利用客が 10 万人となる町営バス。

さて、利用客が 10 万人に到達するのは何月何日になるでしょうか？

■ヒント 平成 18 年中の利用客数 = 41,441 人 平成 19 年中の利用客数 = 48,128 人

■賞品 正解者 5 人にバス回数券などの賞品をさしあげます（正解者多数の場合は抽選）

■応募 応募は 1 人 1 回限り。下の応募券を切り取り、必要事項を記入のうえ役場または役場黒坂支所に提出するか、町営バスの料金箱に入れてください（応募締め切り = 3 月 10 日）

応募券は、役場および役場黒坂支所、町内の小・中学校にもあります。

（切り取り線）

応募

氏名	住所	電話番号	クイズの答え

ボランティア活動やごみのリサイクル、 農業の高齢化対策などの方向を話し合い 第7回日野町まちづくり町民会議

これからのまちのあり方や
まちづくりなどについて話し合う、
第7回日野町まちづくり町民会議が、
1月24日、町役場で開かれました。

今回の会議では、今までの
会議の中で3つの班ごとに話
し合われてきた内容が、項目
ごとにまとめられました。

■まちづくり・高齢化問題 について提言（A班）

A班では、まちづくり・高
齢化問題などについて話し
合っていました。

A班の討議内容まとめ

高齢者の配食サービスの推
進：高齢者の食事確保のため、
業者参入も認めていくほか、
食事内容が配慮されているボ

ランティアによるサービスも
大切にする

ボランティア活動、後継者
の育成：若い人にどのように
参加してもらうかが課題

住民が自分たちでできるこ
とを考えていく：住民一人一

人自分ができることをしてい
くにはどうするか。その仕組
み・手法について、これから
は考えていきたい

子育て支援：行政がパイプ

役になって家庭教育を考えた
プログラムを推めてほしい

魅力ある日野高校づくり：
日野高校がなくなれば根雨駅

に特急電車が止まらなくなり、
無人駅になるなど地域への悪
影響が心配される。また、地
域住民皆で小中学校とも連携
し、魅力ある高校づくりを推
進する

まちのビジョン・方向性に
ついて：「このまちをどうす
るか」という具体的な目標が
必要。「お金がない」で終わら
ず、「お金がなくても、こうし
たらできる」ことを考えてい
く。町民が力を合わせてやっ
ていくことに力を入れる

■元気な高齢者づくり・環 境問題について提言（B班）

B班では、元気な高齢者づ
くりやごみ問題などについて
提言がまとめられました。

B班の討議内容まとめ

元気な高齢者づくり：高
齢者が寄り集まって話ができる
場所づくりを。ほかほか教室
の開催を全町に広めたい

ごみ処理経費の節減：根
雨・黒坂まち部でのステー
ション収集方式を検討する。
リサイクルを推進してごみを
減らす。ごみ減量で財政が助
かることをもつとPRする

古紙のリサイクル推進：資
源ごみの中でも大きな割合を
占める古紙のリサイクルを進
める。古紙は濡れるとリサイ
クルできないので、雨の日は
出さない。屋根つきの小屋を
建てたりシートをかぶせるな
ど、自治会の協力を呼びかけ
る

リサイクル意識の高揚を図
る：小中学校から意識を変え
ていく。マイバッグ、マイ箸
持参などの運動を展開

■産業・観光の活性化につ いて提言（C班）

農業などまちの産業と観光
振興について話し合ったC班
では、次のとおり討議した内

容がまとめられました。

C班の討議内容まとめ

農業の高齢化対策：農業従
事者の高齢化により、水路や
草刈りなどの維持管理が難し
くなっており、農地の荒廃が
進んでいる。農業委員会に地
域農政の中心となってこうし
た問題の改善策に取り組んで
もらうことはできないか

退職者を募って組織づくり
：退職後の生きがいづくり
に農業をしてもらう。グルー
プで冬は炭焼きなど、楽しんで
もらう組織づくりを。休耕田
などを借りて5、6人の小さ
いグループからはじめていく
日野町産米のブランド化と
PR：付加価値のある米は高
く売れる。高く売れば皆米
を作る。マスコミも活用して
PRを

先進地の勉強を：集落営農
の人材や収入の配分など、先
進地の状況を勉強する

荒廃農地の活用：エネ
ルギー対策としてナタネを栽培
してみてもどうか。町の特産
品であるソバを荒廃農地に作
付けし、栽培面積を増やす

今回まとめられた意見は、
今後のまちづくり町民会議で
さらに深く協議されます。

なお、今回の会議は、3月
27日に開かれる予定です。

厚生年金制度の信頼確保のため 「厚生年金特例法」が 制定されました

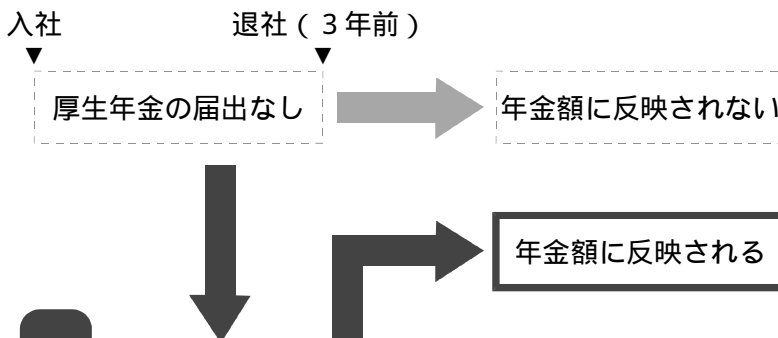
厚生年金保険料が給料から天引きされていたにもかかわらず、事業主から保険料の納付や資格などの届出がされていない人に年金を支払う法律「厚生年金特例法」が制定・施行されました。

今までは

厚生年金保険料が天引きされていても、事業主から保険料の納付や厚生年金の資格などの届出がなかった場合、保険料の徴収権が時効消滅となる2年を経過したときは、その記録は年金に反映されませんでした。

【具体例】

3年前に退職した事業所で
厚生年金保険料を給与天引きされたにもかかわらず、
事業主が厚生年金加入手続きをしていなかったことが
わかった場合



これから

厚生年金特例法の成立により、
厚生年金保険料の給与天引きがあったことが
年金記録確認第三者委員会で認定されたときは、
年金記録が訂正されて年金額に反映されます。

詳しくは、

▼米子社会保険事務所
(電話 0859 - 34 - 6111)

または、

▼ねんきんダイヤル
(電話 0570 - 05 - 1165、I P 電話・P
H S からは 03 - 6700 - 1165)
までお問合せください

安心・安全な水道水 をお届けします

■黒坂地区簡易水道、新水源で給水を開始

昨年5月から工事を進めていた黒坂地区簡易水道水源改良工事が、地権者のご理解と関係者の協力により昨年12月24日に完了し、給水を始めました。

黒坂地区簡易水道は、日野川の伏流水を水源とし、黒坂・下菅・小河内・中菅の一部に飲料水を提供していましたが、近年フッ素濃度の上昇など水質が悪化してきた

ため、新しい水源を求めました。
町では、総事業費4928万円を投じ、深井戸のボーリング(深さ101・3メートル)、電気設備、導水管布設工事を行い、継続して毎分400リットの水量(旧水源は毎分250リットル)が確保でき、さらに水質検査(50項目)においても、各項目とも大幅に基準値を満たす、良質で豊富な水源を中菅地内に掘り当てることができました。

なお、総事業費4928万円の内訳は、借金をしたものの(起債)が4530万円、町の一般財源が398万円となっています。

給水開始から2か月が経ちましたが、現在も順調に稼働しています。今後も給水区域の皆さんに、安心・安全な水道水を安定供給できるよう努めます。



揚水試験の様子。きれいな水が豊富に

▼問合せ 役場産業振興課
上下水道係 電話 72 2101

期間中に正しい申告を

確定申告

(3月17日まで)



- 所得税、住民税の申告は、3月17日までの期間中に申告してください。
- 申告の日程など、詳しくは「広報ひのおしらせ版 1月4日号」をご覧ください。本紙19ページの「くらしのカレンダー」にも3月分の日程を掲載しています。
- 平成18年末までに入居し、所得税のローン控除を受けている人で、平成19年度の所得税から住宅ローン控除額が控除しきれなかった額がある場合は、平成20年度の住民税(町・県民税所得割)から控除されますので、忘れずに申告してください。(申告期限: 3月17日までに、平成20年1月1日現在お住まいの市区町村へ) 申告書の用紙は、役場住民課・役場黒坂支所にあります。
- お問合せは、役場住民課(電話 72-0333)まで

申告に必要なもの 必ず持参してください

▼ 印かん ▼ 税務署から申告書が送付されている人はその申告書と、事業所得などがある人は同封の収支内訳書 ▼ 農業所得がある人は、収支内訳書と内容がわかる書類(町作成の収支内訳書は、役場住民課または役場黒坂支所にありますのでご利用ください) ▼ 給与、年金などがある人は源泉徴収票 ▼ 医療費控除を受ける人は、19年中に支払った医療費の領収書と、保険などで補てんされる金額の明細書 ▼ 社会保険料控除がある人は、社会保険料(国民年金保険料)控除証明書(はがき) ▼ 生命保険料控除、地震保険料控除(旧長期損害保険料含む)がある人は、支払った保険料の証明書 ▼ 住宅借入金等特別控除を受ける人は、登記簿謄本、住民票抄本、工事請負契約書、住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書 ▼ 公共事業で土地や家屋の買収があった人は、買取証明書 ▼ 山林、土地の譲渡があった人は、売買契約書 ▼ 還付申告の場合には、還付金の振込先の口座番号がわかるもの(本人名義の口座に限る)

ぽかぽか教室

気軽に参加してみませんか



ゴムチューブを使ったセラバンド体操

健康づくり・生きがいづくりの一つとして、介護予防教室「ぽかぽか教室」を開いています。現在、多くのグループが参加し、健康づくりに取り組んでいます。

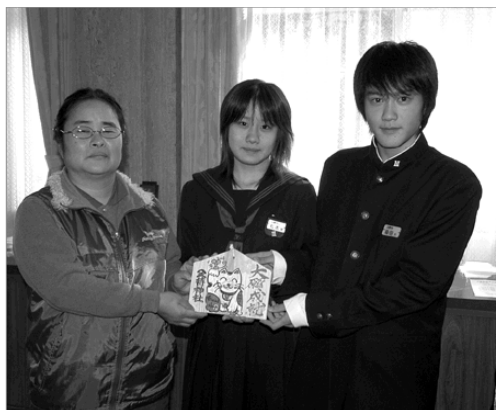
参加者募集中

筋力向上教室では、セラバンド(ゴムチューブ)を使った、軽い筋力トレーニングを行います。

筋力の衰えが原因で転倒し、そのまま寝たきりになる人は少なくありません。

セラバンドを使って、下肢や日ごろ使っていない筋肉をバランスよく鍛え、つまりいても上手に対応できる能力を身につけましょう。

「ぽかぽか教室」では、筋力向上教室のほか、調理実習や歯みがき指導なども行っています。おおむね5人以上のグループ(友人、老人クラブ、自治会など)でお申込みください。詳しくは、役場健康福祉課(電話 72-0334)までお問合せください。



手づくり絵馬は金持神社札所でも販売

地元の中3年生に受験勉強をがんばってもらいたいと、1月10日、障害者授産施設セルプひの(根雨)の利用者が、日野中学校の3年生38人へ手づくりの絵馬を贈りました。

日野中学校で行われた贈呈式には、セルプひのの田子功司所長と、利用者代表の中原さゆりさんが出席、「受験に向けて頑張ってください」と、3年生代表の稲田大地さんと松本佳奈さんに絵馬を手渡しました。

絵馬を受け取った稲田さんは、今が一番受験で忙しい時期。この絵馬を大切にして勉強を頑張りたい」と感想を話しました。

受験勉強がんばって

セルプひの利用者が絵馬を寄贈

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
☆役場総務企画課まで(電話72-0331)

燃える炎に願いを込めて

町内各地でとんどさん



もちを焼くのも子どもの楽しみ

正月のしめ飾りなどを燃やして一年間の無病息災を願う伝統行事「とんどさん」が、町内各地で行われました。

1月13日、黒坂小学校校庭で行われた、黒坂地区コミュニティ推進協議会(柴田滋会長)主催のとんどさんには、黒坂・菅福地区の住民約100人が早朝から参加し、勢いよく燃える炎に願いを託しました。

また、会場内のテントでは、ぜんざいとお神酒のサービスもあり、参加者らの冷えた体を温めました。

収穫に感謝して

根雨小学校餅つき



つきあがった餅を皆で丸める

根雨小学校の児童らが育てた米の収穫を皆で祝う餅つき大会が、1月21日、根雨小学校体育館で開かれ、児童らのほか地域住民や保護者でにぎわいました。

今回の餅つきに使われたのは、校舎の隣りにある水田で栽培したスズハラモチ。田植えから収穫まで、地域の人に協力してもらいながら大切に育てました。

開会式では、5年生の小谷真由さんが「今年はイネがいもち病にかかったけど無事お米がとれました。今日はおいしいお餅を食べましょう」とあいさつ、つきあがった餅は、雑煮やぜんざいにして全員で試食しました。

生産者に感謝

全国学校給食週間

全国の学校で給食や食について考える全国学校給食週間(1月24日〜30日)に合わせて、1月24・25・29日に、町内の小中学校で学校給食の試食会が行われました。

今回の週間のテーマは「見直そう! じげの味」。地元で採れた素材を使った料理や郷土料理が献立に取り入れられました。

試食会には、給食に食材を提供している生産者や保護者、県・町職員ら延べ約50人が参加。児童・生徒らと一緒に給食を味わい、献立の感想や、農産物を作る苦労などを話し合いながら交流を深めていました。



おいしく食べながら交流

気合いで冷たさを乗り切る

空手寒げいこ



冷たさをものともせず大声で気合い

寒風に身をさらして心身を鍛えようと、日本少林寺流空手錬成会館鳥取県支部（音田守支部長）主催の、恒例の寒げいこが、1月27日に行われました。

24回目となる今回は、鳥取県支部をはじめ、関西方面からの参加者を含めた約60人が参加しました。

町文化センターで行われた屋内げいこでは、突き・けりなどの基本動作や型の披露などが行われました。

その後、参加者らは粉雪が舞う中、身を切る冷たさの日野川に入り、「エイ！エイ！」と気合いを入れながら一斉に拳を突き出して、今年一年の精進を誓いました。

オシドリ仮面再び参上

さん・ふい・るど保育所公演

まちの子どもたちに演劇に親しんでもらおうと、2月1日、町内で活動している劇団、お芝居くらぶさん・ふいーるど（佐野咲百合代表）がひのつこ保育所を訪問し、公演を行いました。

上演されたのは、「参上！オシドリ仮面!!」。子どもたちをなまけ者にしてしまおうとする悪の王国を、日野町を守る正義のヒーロー・オシドリ仮面が退治するという物語で、一昨年に上演され好評だった作品の第2弾として再登場したものです。

出演者は、役になりきって熱演、子どもたちに、なまけずに規則正しい生活を送る大切さを訴えかけました。園児らは、オシドリ仮面の大活躍に声援を送りながら楽しんでいました。



オシドリ仮面のピンチに園児からも声援

格調高い音色の競演

新春サロコンコンサート



曲の情景が表情豊かに奏でられる

新春にふさわしい箏の音色を楽しんでもらおうと、2月3日、ホールと共に歩む会（木島泰代表）主催のサロコンコンサートが、町文化センターで開かれました。

コンサートでは、県内で活動している箏アンサンブル桐糸音と、フルート奏者の福留みどりさんによる演奏が披露されました。曲目は、「春の海」などの伝統的な曲や、現代風にアレンジしたものなど6曲。箏の繊細な調べと、西洋楽器のフルートの温かい音色が奏でる珍しい組み合わせのハーモニーに、聴衆からは大きな拍手が送られていました。

まちに読経の声響く

町仏教会たく鉢寒行

真冬に寒行を行い、また社会福祉に役立てようと、町仏教会のたく鉢寒行が、2月10日（根雨地区）と11日（黒坂地区）に行われました。

このたく鉢に寄せられた浄財は、町内の保育所、小中学校、福祉施設などに寄付されることになっており、町内の寺の僧侶が参加しました。

10日は根雨、野田、舟場で行われ、黒い衣と笠を身にまとった僧侶が、雪の降りしきる中、般若心経を唱えながら各家庭を一軒一軒回りました。

また、この恒例となった風情ある光景をカメラに収めようと、県内外からアマチュアカメラマンも多く訪れていました。



鈴を鳴らしながら家々を訪問

冷水浴びせて厄落とし祈願

伝統行事「ほとほと」



水をかけられるのは地元男性の役目

菅福地区に伝わる厄落としの伝統行事「ほとほと」が、2月10日に行われました。これは、みの・かさ姿のほとほと役にふんした男性たちが、縁起物を持って厄年を迎えた人の家庭を訪問し、いったん引き返した後再び現れて帰るところを狙って家の人がほとほと役に冷水を浴びせかけて厄落としをするもので、今回は5人のほとほと役が3軒を訪問しました。

行事に参加した女性は、「ほとほとが地域で復活して6年。水をかけることでにぎやかに厄落としを実感できました」と話していました。

広報写真の部（一枚写真）で1席に入賞

■平成19年度県広報コンクール

平成19年中に県内で発行された広報紙を審査する、平成19年度鳥取県広報コンクール審査会が、1月11日、県庁で開かれ、広報写真の部（一枚写真）で、「広報ひの5月号」表紙写真が1席に入賞しました。

この写真は、4月に行われる全国広報コンクールに推薦されます。

これは、日野川でのラフ

ティングの様子を、川にかかる数津橋と合わせて撮影したもので、まちの皆さんから「たいへん好評をいただいた一枚です。」

なお、広報紙の部では「広報ひの7月号」が、広報写真の部（組み写真）では「広報ひの1月号」の町民ミュージカル特集での写真が、それぞれ入賞しました。



自然と橋が調和した「広報ひの5月号」表紙

飼い主のマナーを守って 楽しく散歩を

最近、ペットを飼って動物と親しむ人が増えています。朝や夕方など、飼い犬と散歩する人も多く見かけます。みんなが気持ちよく暮らすためにも、飼い主のマナーを守りましょう。

- 散歩させるときは必ずリードでつながしましょう
おとなしい小型犬でも、突然走り出したり、他の犬とけんかしたりする可能性があります。飼い犬を散歩させるときは、放し飼いにせず、必ずリードでつながないようにしましょう。
- 排せつ物はきちんと処理を
散歩中に排せつしたふんは、自宅に持ち帰ってトイレに流しましょう。散歩をさせるときには新聞紙やビニール袋などのほか、尿を洗い流すための水を入れたペットボトルなどを持ち歩くと便利です。
- 最後まで責任を持って飼いましょう
生まれてしまったからといって動物を捨ててしまうことはマナー以前の問題です。また、犬や猫、鳥などの愛護動物を捨てると50万円以下の罰金が課せられます。やむを得ず犬・猫を引き取ってほしい場合は、日野総合事務所福祉保健局 保健衛生課（電話 72 - 2038）までご連絡ください。

おしらせ information

▼3月にかけて地デジに備え調査を実施

『地上デジタル放送移行対応状況調査及び地域情報化住民意向アンケート』にご協力ください

2011年（平成23年）7月24日、現在のテレビ放送（アナログ放送）は終了し、全て地上デジタル放送（地デジ）となります。

町では、町内全世帯が混乱なく地デジに移行できるよう、世帯の状況を把握し、総務省や県、放送事業者に必要な手段をとってもらえるよう、地上デジタル放送移行対応状況調査を行います。

また、携帯電話が使えない

古い電話帳の回収にご協力ください

NTTでは、地球にやさしい取り組みとして、新しい電話帳を配達する際に古い電話帳を回収し、新しい電話帳の

地域の解消、高速インターネット環境の提供やケーブルテレビ整備など、地域情報化について皆さんの意見を参考

にしていくためのアンケート調査を併せて行います。

調査は、3月にかけて各家庭に調査票を配布して行いますので、皆さんのご協力をお願いします。

問合せ 役場総務企画課（電話72・0331）

原材料とする『電話帳クロードループリサイクル』の取り組みを行っています。

3月に順次新しい電話帳を配達しますので、古い電話帳を配達員に渡してください。

なお、配達の際に不在の場合は別途回収しますので、タウンページセンタまでお電話ください。

電話帳広告料金請求書にご注意ください

NTTグループが発行している電話帳広告料金の請求書には、NTT西日本またはNTT中国電話帳株式会社の名称が必ず明記されています。『タウンページ』『ハローページ』に掲載されている広告の切り抜きを貼り付けた金融機関の振込用紙は、NTTが発行している電話帳の広告料金請求書とは全く関係ありません。支払う際にはNTTグループのマークがついているか必ず確認ください。

不審なことがありましたらお問合せください。

問合せ タウンページセンタ（電話0120・506309）

■教育委員会からのお知らせ

町青年の家廃止など協議

2月5日、第2回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

▼議案 日野町小中一貫教育基本構想検討委員会委員の委嘱について

日野町の小中一貫教育を検討するにあたり、基本構想を検討する委員を委嘱します。

▼議案 平成19年度一般会計補正予算要求書の提出について

灯油等の高騰により、学校・公民館施設の燃料費を増額するものです。

▼議案 日野町立青年の家の

廃止について

▼議案 日野町立青年の家の設置及び管理に関する条例の廃止の申出について

「教育施設としての青年の家を廃止することとして、設置及び管理に関する条例を廃止するよう町長に申し出るものです。

その他、平成20年度の教育行政施策について、内容を協議し、次回の委員会に議案としてかけることとしました。

鳥取県の総合情報誌

とっとりNOW

第77号 3月1日発売
▼最寄りの書店または役場総務企画課で購入できます▼1冊300円（年4回発行）



巻頭特集は、若桜町、湯梨浜町など県内の蔵元を訪ね、銘酒が生まれた水や米などの背景に迫りつつ、酒に合う肴、鉄道、まちなみなどを紀行文で紹介。また作家、コメンテーターなど、幅広く活躍している勝谷誠彦氏が、酒、文化、食など「鳥取への思い入れ」を語る。

お元気ですか 日野病院です

冬の手は「用心」！

「じょうずに手を洗っていますか」

寒いこの季節、「インフル
エンザ」にかからないように、
外から帰ったら手洗いと、う
がいはいしかりしましょう。
「ノロウイルス対策に手洗いは
大切です」と、よく耳にされ
ると思います。今回は、日
常生活の中でよく行われている
「手洗い」についてお話し
します。

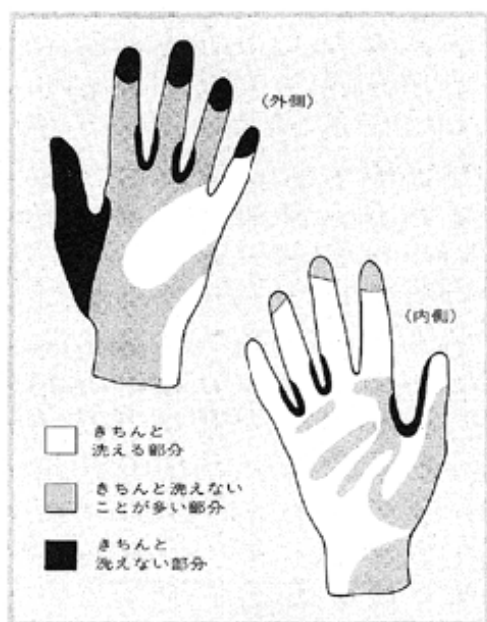


図1 手洗い時きちんと洗われない部分

医療従事者の「手洗い」は
業務の内容から3段階に分類
されています。

その中で、「日常的な手洗
い」という、一般生活の中
でも行う手洗いの方法を紹
介します。いつも行っている
自分の手洗い方法を振り返
ってください。

まず、図1の、手を洗っ

もきちんと洗われていない部
分をご覧ください。
そして、次の順番に手を
洗ってください。

流水で手を濡らす
せつけんをつけ、手のひら
をよくこする（固形せっけん
は乾燥できる状態で保管す
る）

手の甲をのばすようにこす
る

爪先・爪の間を念入りにこ
する（指輪のまわりも洗う）

指の間を洗う

親指と手のひらをねじり洗
います

手首を洗う（時計などをして
いるときは外すのも良い）

すべて洗えたら、十分に水
で流し、きれいなタオルまた
は、紙タオルでよく拭き取っ

て乾かす（洗い終わった後、
水道の蛇口に水をかけるなど
してから水道の水を止める）

最後に、手が荒れる人は、
いろいろな菌が付着しやすい
ので、顔のお手入れと同じよ
うに、手荒れ防止のための手
のケアも忘れないでください
それでは、元気にこの冬を
乗り切りましょう。

（看護局長 小村裕美子）

お気軽に参加ください「健康みみより教室」

「健康みみより教室」は、日野病院をご利用いただいている患者様・ご
家族の皆様に、ちょっとみみよりの健康情報をお伝えする教室です。

教室といっても、病院の玄関先の一角を使いますので、誰でも気軽に
立ち寄ることができます。教える人がいて、学びたい人がいれば、学校
や教室はいつでもどこでも成り立つと言われます。また、「教える能力と
いうのは、面白く教えることである」とアルベルト・アインシュタイン
も述べています。皆様の健康に役立つみみよりの情報を、わかりやすく
そして面白くお伝えできるようがんばります。

また、教室の日は、コンピューターを使った栄養相談も同時に行いま
す。興味のある人もない人も一度受けてみてください。きっと、健康的
な食生活の参考になること間違いなしです。

教室は、次の日程で行います。どうぞお立ち寄りください。

日 時	テーマ
3月27日（木）午前9時30分～午前10時	アレルギー対策について
4月24日（木）午前9時30分～午前10時	嚥下対策・口腔ケア
5月20日（火）午前9時30分～午前10時	転倒予防教室
6月17日（火）午前9時30分～午前10時	うつ症状について

手洗い前の
チェックポイント
▼爪は短く切ってい
ますか？
▼手は荒れていませ
んか？
▼手ふきタオルはき
れいですか？

手の汚れが
残りやすいところ
▼指先・爪の間
▼指の間
▼親指の周り
▼手首
▼手のしわ

問合せ 日野病院（電話 72 - 0351）

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

山の恵みをたつぷり堪能

▼山菜を楽しむ会

1月27日、地元で採れた山菜などの食材を多くの人に楽しんでもらおうと、地元の女性グループ「萌会（もくかい）（恩田記子代表）」主催の「山菜を楽しむ会」が、町公民館で開かれました。7回目となるこの会では、

地元の山で1年かけて集め、塩漬けなどの手法で丁寧に保存した食材のフルコース料理が振る舞われました。

ワラビやゼンマイ、ウドなどの山菜のほか、地元のホンモロコや猪を使った料理に、町内外から参加した約50人の参加者は、珍しい食材の彩り美しい料理を、目と舌で存分に味わいました。

この会は、毎年この時期に開かれており、参加者は来年も味わえることを楽しみにしていました。



参加者からは調理法などの質問も



色とりどりの料理

4つの「R」で環境を守る

▼「ごみについて考えてみませんか」

町公民館でも環境問題について考えていきたいと思いい、1月から、黒坂支所窓口カウンター横の、ごみ袋が入っているロッカーに「鳥取県が取り組む4つの「R」という内容の掲示をしています。窓口に来られた際にはご覧ください。

4つの「R」とは

4つの「R」というのは、廃棄物を出さないための方法を英語にした頭文字が「R」

環境について考えてみましょう



から始まることから呼ばれています。

① Refuse（リフーズ：発生抑制）

レジ袋を断るなど、マイバックや簡易包装でゴミを発生させない

② Reduce（リデュース：ごみを減らす）

詰め替え商品を選ぶなど、ごみになる物を少なくする

③ Reuse（リユース：再利用する）

リサイクルショップやフリーマーケットを上手に活用するなど、繰り返し使うことを始める

④ Recycle（リサイクル：再生利用する）

ごみをできるだけ分別し、もう1度資源として使う

皆さんも、取り組めることがあったら、今日から実践してみませんか

こんにちは、青パトです

▼防犯パトロール講習会を開催

1月15日、15人の会員が出席し、町地域防犯・生活安全パトロール協議会（山本武史会長）の定例会と防犯パトロール講習会を、町役場で開きました。

防犯パトロール講習会では、黒坂警察署生活安全刑事課長の田口勝美さんが、自主防犯組織の活動について注意点を話しました。

田口さんは、まず青色回転灯を点けてパトロール中も交通ルールはしっかり守り、安全に運転することを確認し、その後交通事故や犯罪に遭った場合について話しました。

その際優先するのは人命救助であり、119番通報で救急車を呼び、その後110番通報して現場の状況を冷静に伝えて欲しいと話しました。

また、事件の早期解決のため、犯人や車両の特徴をメモすることが効果的で、日ごろからパトロール中にくせをつけることに取り組んで欲しいと訴えました。

参加した会員は、今後の活動に生かすよう真剣に耳を傾けました。

▼青少年育成会から防寒着を貸与

日野町青少年育成会（柴原保明会長）から冬場のパトロールに使用してほしいと、防寒着が貸与されました。現在、会員は防寒着を身に付け、パトロールをがんばっています。



柴原会長（左）から山本会長へ

▼お詫びと訂正

2月5日発行の協議会広報紙「日野町防犯パトロール第3号」の中で、会員氏名に誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫びいたします。

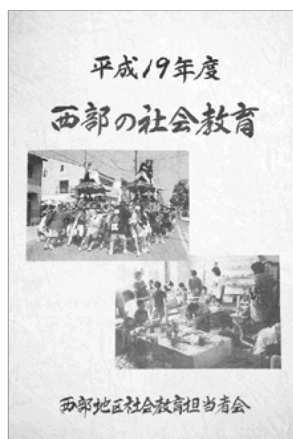
（誤）生田正明（根雨）
（正）生田英明（根雨）

あなたの力が必要です

～青パト会員募集中～

地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称：青パト）では、子どもたちや高齢者を不審者から守るパトロールに参加していただける会員を募集しています。車に乗って町内を回ってくださる人、下校時に通学路に立ってくださる人など、会員の中でも活動は様々ですが、安心・安全な地域づくりという同じ目的を持っています。不審者による事件を未然に防ぎ、全町・各地区で多くの会員の皆さんの力で、安心・安全な地域づくりをしようではありませんか。

会員になっていただける人は、協議会事務局（町公民館、電話 74 - 0212）までご連絡ください。



▼生涯学習にお役立てください
このたび、西部地区の市町村で構成する西部地区社会教育担当者会（社会教育主事等部会、公民館主事・職員部会、社会体育・スポーツ担当者部会、人権教育担当者部会、文化財担当者部会の5部会）が1年間の部会事業などをまとめた冊子「西部の社会教育」を発行しました。
冊子は町教育委員会、町公民館にあります。どうぞご覧ください。

第10回おしどり学園

おしどり学園閉講式を開きます。
当日は懇親会（負担金1,000円）を行います。
学園生の方は必ず出欠の連絡をお願いします。
日時 3月18日（火）午前9時30分～
当初お知らせした日程を変更しましたのでご注意ください
場所 町公民館
内容 人生講話
問合せ 町公民館（74 - 0212）
当日は町営バスを臨時運行します

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

- 使用できる日＝年末年始（12月29日から1月3日）を除く日
- 使用できる時間＝午前8時30分から午後10時まで
- 料金＝町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後5時30分まで開放しています。図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。ごみ袋は設置していませんので、ご持参ください。

▼ふれあい展示コーナー
に出展してみませんか
町公民館では、ふれあい展示コーナーの出展者を募集しています。
皆さんが日ごろから取り組んでいる創作活動を出展してみませんか。
絵画、写真、書などジャンルは問いません。
希望する人は、町公民館までご連絡ください。

りんぽかん 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



慣れない作業も楽しみながら

今回はタオルで挑戦 ▼布ぞり作り

1月22日と29日、榎の実学習会（小学生）で布ぞり作りを行いました。昨年はビニールひもを使いましたが、今回はタオルで作りました。編みにくく、時間がかかりましたが、履き心地はとてよく、洗濯もできるといふ利点もあり、ビニールで編んだものより実用的なようです。



子どもにはアドバースを



今年もにぎやかに開催

盤をはさんで真剣勝負 ▼新春囲碁将棋大会

1月13日、第31回新春囲碁将棋大会が老人憩の家で開かれ、将棋に8人、囲碁に13人が参加し、熱戦が繰り広げられました。また、対戦の空き時間には、訪れた子どもに指導する姿もみられ、ほのぼのとした交流の場になりました。成績は次のとおりです。

将棋の部（敬称略）
優勝 石田信広（下榎）
2位 西村春夫（下榎）
3位 西村通（下榎）
囲碁の部A（敬称略）
優勝 小谷豊（下榎）
2位 小谷三郎（下榎）
2位 遠藤均（榎市）
囲碁の部B（敬称略）
優勝 長住武義（金持）
2位 森吉紀久夫（根雨）
3位 松本進（下榎）

自分だけの食器が完成 ▼ポーセラーツ教室



出来上がったかわいい作品たち

1月27日、下榎集会所でポーセラーツ教室が開かれ、親子連れなど14人が参加しました。指導者は下榎の宇田妃登美さん。コーヒークップや皿などに好みの絵柄のシールを選んで組み合わせて貼り、宇田さんに専用の窯で焼いていただき、手作りのマイ食器を作りました。絵柄の組み合わせに四苦八苦しながらも楽しく作業ができました。次の機会には皆さんもぜひチャレンジしてみてください。

▼ぽかぽか教室（調理実習）

1月11日、ぽかぽか教室が開かれ、調理実習を下榎集会所で行いました。今回は、役場健康福祉課の栄養士の指導で、鮭の包み焼きなど4品を作りました。メニューの一つである、さつまいものケーキは珍しく、黒糖とあわせて蒸しケーキにしてみると、意外とあっさり。調理も簡単で、とても好評でした。また、ほとんどのメニューが、旬の野菜を使った料理で、材料も手に入りやすく、さっそく家でも作れると参加者は喜んでいました。次の機会には、町内の多くの皆さんにぜひ参加していただきたいと願っています。

3月の学習講座予定	■編み物	8日（土）	午後1時～	老人憩の家（講師 安達利子さん）
	■生け花	18日（火）	午後7時30分～	下榎集会所（講師 生田清子さん）
	■木工	19日（水）	午後1時30分～	下榎隣保館（講師 柴田三千明さん）

日程など変更になることがあります。詳しくは下榎隣保館まで一いづれの講座も2時間の予定です



片手使い人形劇

かえるくん・かえるくん

【鳥取県アートスタート次世代鑑賞者育成事業】

- と き 3月22日(土)
10:30 開演 (10:15 開場)
- ところ ひのっこ保育所
- 内 容 「かえるくんのとくべつな日」
「かえるくんのあたらしいともだち」
- 出 演 人形劇団ひぼぽたあむ(東京)
- 鑑賞料 500円(2歳以上の子ども・大人同額)
無料託児サービスもあります
(3月20日までに申込みください)
- 主 催 親子でアートを楽しむ会「おひさま」
- 問合せ 町文化センター(電話 72-1300)

3/22(土)

親子で人形劇を楽しもう
「アートスタート」へどうぞ

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館の展示コーナー

ジュニア県展入選作品展

3月1日(土)～30日(日)

【写真の部】毛利智尋さん、木村理沙さん、住田茉也乃さん、谷口綾花さん、後藤直哉さん、高橋真祐さん

●木のおもちゃづくり

3月9日(日) 9:30～

場所：図書館車庫

■おひなさまの組み木など(要材料費)

●図書館おはなし会

3月15日(土) 10:00～

場所：図書館絵本コーナー

■わらべうた・おはなし・絵本など
(参加無料)

●サイエンスアカデミー講座

3月22日(土) 10:30～

場所：図書館郷土資料コーナー

●町歴史研修会公開講座

3月13日(木) 10:00～

場所：山村開発センター

■テーマ：「黒坂城ものがたり(2)」
講師：牧智也さん 参加無料

3/19(水)

犯罪被害者支援講演会

18:30 開演 (18:00 開場) 入場無料

- 会場 ホール森の音楽隊
- 内容 日野中学校吹奏楽部コンサート(18:30～)
犯罪被害者支援講演(19:30～)
- 講師 岩谷利男さん(被害者支援都民センター)
- 演題 「放火犯を捕まえようとして刺された息子
～息子の事件を振り返って～」
- 問合せ 黒坂警察署内 黒坂警察地区犯罪被害者支援連絡協議会事務局(電話 74-0110)



講師の岩谷さん

3/23(日)

日野中学校吹奏楽部 卒業コンサート

13:30 開演 (13:00 開場) 入場無料

- 会場 ホール森の音楽隊
- 曲目 コンクール出場曲・ディズニーメドレーほか

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時 間	内 容
9 : 00 ~ 11 : 00	受付（随時受付しています）
9 : 00 ~	絵本読み、室内おもちゃ遊び（積木、ブロックなど）ふれあい遊び（わらべうたなど）
9 : 30 ~	一斉活動
10 : 00 ~	外遊び（雨天時：室内遊び）
10 : 40 ~	片付け・ティータイム（各自持参）
10 : 50 ~	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11 : 00 ~	あいさつ（終了）

今年の冬は、雪は少ないですがまだまだ寒い日が続いています。風邪などにはじゅうぶん注意しましょう。

1年前、まだ寝ていたり座るのがやっとだった赤ちゃんが、ハイハイしたり歩けるようになりました。また、お母さんのそばから離れられなかったのに、友だちとおもちゃで遊べるようになりました。それぞれに大きくなった姿を支援室で出会った保護者やボランティアの皆さんと一緒に喜ぶことができ、つながりが少し広がったのを感じます。1年間、いろいろご協力いただき、ありがとうございました。

3月は町公民館に出かける日もあります。お誘い合わせお越しください。

連絡先 ひのっこ保育所 音田（電話 72 - 0238）

● 3月の予定 ●

3月5日（水）：折り紙遊び（町公民館で開きます）

3月12日（水）：町図書館からのおはなし会
保健師による育児相談

3月19日（水）：小麦粉粘土遊び

3月26日（水）はお休みです

炭焼くやのろしのごとき煙上げ
ひつじ田に喜々と遊べり初雀
蕎麦買ひて終りとしたる年用意
元旦やばあばおめでと曾孫笑む
遠き子に塩鰯丸餅送る母
ほんのりと野の香匂へる七日粥
初日さす送電塔の辺りから
凍蝶のふわりと舞ひてわが肩へ
古新聞つい読み耽る掃納

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

（五十音順）

真壁富貴枝 徳本千鶴子 久城霞溪 川上文子 勝瀬京子 梅林春子 荒木習子 安達つるゑ 悦子

スポーツ安全保険 加入のご案内

スポーツ安全保険は、アマチュアのスポーツ・文化・ボランティア・地域・指導活動をする団体（5人以上）を対象に、グループ活動中の傷害事故や賠償責任を負う事故を補償する制度で、現在1,000万人の加入実績があります。加入内容、申し込みなど、詳しくは教育委員会までお問合せください。

- 受 付 3月1日から
- 保険期間 4月1日から1年間
- 問合せ先 町教育委員会事務局（電話 72 - 2107）

対 象 団 体	掛金(1人)
子どもの団体（中学生以下）	500 円
文化・ボランティア・地域活動（高校生以上）団体	1,500 円
高校生以上のスポーツ活動団体	800 円
老人クラブなどの団体（60歳以上）	9,000 円
危険度の高いスポーツ活動団体	

編集後記

■ 今回の2月号編集のヤマ場の時期に風邪を引いてしまいました。■ ふと思いついて以前の広報をめぐってみると、昨年2月号の編集後記にも風邪を引いたと記述が…。■ どうやら私の風邪殿は毎年定期的にやって来られるようです。皆さんも気を付けてくださいね。(i)

梅林 延也 73歳 下黒坂
山川 峰子 97歳 根雨
長尾 実代 92歳 黒坂
池座 和夫 80歳 上菅
木山富美子 98歳 濁谷
判野 俊治 60歳 黒坂

おくやみ
ご冥福をお祈りします

小倉 弓佳 格・路子 女の子 下黒坂

（出生児）
1月届出分
（保護者）（性別）（住所）

赤ちゃん誕生
おめでとございます

届出 1月10日～2月10日 敬称略

1月31日現在

わたしの町

（前月比）
人口 4,090人（-7）
男性 1,912人（-1）
女性 2,178人（-6）
世帯 1,548戸（-1）

3月 暮らしのカレンダー

MARCH (弥生)



1 土	
2 日	
3 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時
4 火	乳児健診・BCG予防接種 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 ----- 確定申告 町公民館 午前＝黒坂6区・小河内地区、午後＝黒坂5区
5 水	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時 ----- 不燃ごみの収集日（全町） ----- 確定申告 町公民館 午前＝黒坂1区、午後＝下菅・黒坂下3区
6 木	確定申告 町公民館 午前＝久住・黒坂7区、午後＝黒坂上3区・4区
7 金	確定申告 町公民館 午前＝下黒坂地区、午後＝黒坂2区
8 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後1時～
9 日	
10 月	確定申告 町公民館 午前＝上上菅、午後＝福長地区
11 火	確定申告 町公民館 午前＝下上菅・中上菅、午後＝中菅地区
12 水	行政相談 開発センター 午前9時～正午 ----- 資源ごみの収集日（全町） ----- 確定申告 町公民館 黒坂・菅福地区の補足日
13 木	確定申告 町公民館 全地区の補足日
14 金	確定申告 開発センター 根雨・日野地区の補足日
15 土	
16 日	
17 月	確定申告 開発センター 全地区の補足日
18 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～

19 水	古紙の収集日（全町） ----- 隣保館木工講座 下榎隣保館 午後1時30分～
20 木	春分の日（可燃ごみの収集は休みます） 21日に木曜日収集の地区も収集します
21 金	全町の可燃ごみを収集します
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	
26 水	ペットボトル・不燃粗大ごみの収集日（全町）
27 木	
28 金	全血献血
29 土	
30 日	
31 月	

- 確定申告受付時間
▼午前＝午前9時～午前11時（町公民館）
午前8時45分～午前11時（開発センター）
▼午後＝午後1時～午後4時

- ミニギャラリー情報（町内の展示コーナーを紹介します）
■山陰合同銀行根雨支店 『小谷亜子さんスイーツデコ展』3月10日～4月4日まで
■鳥取県日野総合事務所 『鳥取砂丘写真展』3月1日～31日まで
■蔵美術館 『岡野三郎さん【冬の大山】』～4月25日まで
■県西部地震展示交流センター 『被災地交流と被災者支援ネットワーク資料展』～3月27日まで
■日野病院 『松本利秋さんオシドリ写真展』～2月29日まで

町内のミニギャラリー情報をお寄せください
前月5日までに町文化センター（電話72-1300）へ

直通電話
総務企画課 72-0331 住民課 72-0333
産業振興課 72-2101 黒坂支所 74-0211
農業委員会 72-2103 教育委員会 72-2107
地域包括支援センター 72-1852 ひのっこ保育所 72-0238
役場代表番号（夜間・休日）72-0331

出納室 72-2105 健康福祉課 72-0334
公民館 74-0212 議会事務局 72-0335
文化センター 72-1300 給食センター 72-1167
黒坂保育所 74-0225 下榎集会所 72-1191

町長の定期便

第23回

皆さんの協力で活力あるまちに

春が待ち遠しい今日このごろです。春は目の前に来ていると思います。あともう少しの辛抱ですね。

新年のあいさつ回りをしたときに感じたことですが、町内には病院や福祉施設、各種事業所があります。共通している点は、「職員を募集しても応募者がなく困っている」ということでした。

「新しい事業展開をしようと思うができない。今の事業所を継続するのも不安がある」とも話されていました。

現段階で企業誘致をしようと思っても、今すぐに実現するのは難しいと思います。まずできることは、今ある事業所などを大切にして育てることが先決ではないでしょうか。

このまちでの雇用は500人近くあると思いますが、そのうち町内在住者は約4割にとどまっています。6割の人が町外から、遠くは米子市方面からも通勤しておられます。できることなら、病院をはじめ各事業所への就職に挑戦してみてください。

これらの事業所がなくなると、さらに寂しいまちになってしまいます。買物など地元を活用することで、このまちが活力ある姿に変わっていくと考えます。

次々と姿を消してから騒いでみても遅いのではないのでしょうか。皆さんのご協力、さらなるご支援をお願いしたいと感じた正月でした。

(2月7日記) 日野町長 景山 享弘



日野町特産のそば粉を使って
素朴な味のクッキー

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ④



そばマロンクッキー

【材料】15～16個分

- そば粉 (50g) ●小麦粉 (50g)
- ベーキングパウダー (小さじ1)
- 砂糖 (40g) ●無塩マーガリン (50g)
- 玉子 (1個) ●牛乳 (大さじ1)
- 栗 (適量)

【作り方】

- ①ボウルにバター、砂糖を入れて練り混ぜ、玉子を加えてよく混ぜてから、牛乳を加えてよく混ぜる。
- ②そば粉、小麦粉、ベーキングパウダーを合わせてふるいにかけ、①と混ぜ合わせる。
- ③15～16個に丸くまとめ、栗をのせて天板に並べる。
- ④180℃のオーブンで15分くらい焼く。

オシドリ

Vol. 120

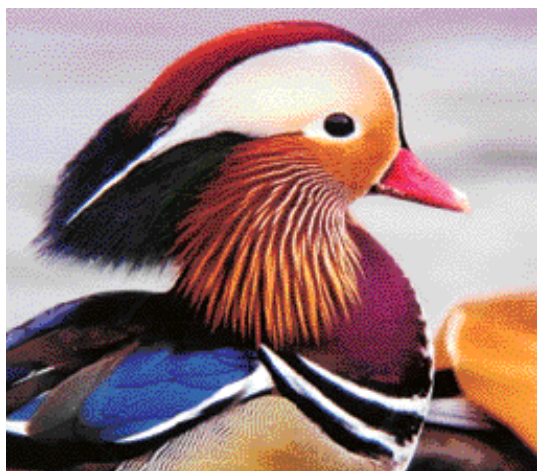


この世のもの？

観察小屋ではボランティアが毎日案内をしています。おかげで今シーズンも観察者は1万人を超えました。金持神社帰りのお客様が、間近にいたオシドリに感激して「この世のものとは思われない」と言われました。ボランティアもすかさず「金持神社のご利益ですね」と。観察小屋ではいつも話に花が咲いています。今やオシドリと金持神社は日野町の観光スポット。皆さんの温かいおもてなしの心が一番のごちそうです。

【連絡先】 オシドリグループ事務局

森田 (電話) 72 0271



『ボクたちは自然界からの贈り物』
撮影 坂口茂正さん (米子市)